



これからの時代の 図書館とは

大野 洋子 議員



人が集い、交流する場になっ ていく必要がある

質問一 図書館の現状と課題は。

二 21世紀の図書館に求められる機能について。

ア 高度化・多様化する地域住民の要求への対応は。

イ 社会の変化に伴う新たな要請への対応は。

三 社会の変化に対応した図書館の在り方について。

四 図書館に必要とされる司書の在り方について。

五 学校図書室の充実について。

答弁一（教育委員長） 利用者数及び利用冊数が減少傾向となり、老朽化への対応も必要である。充実した市民サービスのため、運営の効率化を行うことが重要である。

二 ア 様々な情報の収集・整備に努め、国・県・他市町村の公共図書館等とも連携していく。

イ 必要な情報・資料を収集して市民に提供し、課題解決の支援に努めていく。

三 人が集い、交流する場になっていく必要がある。くつろぎの場の設置などにも必要である。

四 多様な学習要求に応え、的確な情報提供等を行う必要がある。

五 ニーズに応じた図書の提供や図書室の環境整備に努めていく。

◎**その他の質問** 地域包括ケアシステムの構築



自助はもとより地域の皆さんが 助け合う共助が欠かせない



鶴ヶ島市の防災・ 減災対策は

持田 敏明 議員



質問一 多様な災害に備える鶴ヶ島市防災計画について。

ア 避難所の開設に当たり、自主防災組織との連携は。

イ 避難行動要支援者に対しての対策は。

二 災害時における医療体制は。

三 災害時における民間団体との

協力関係は。

四 他の自治体との災害時における相互応援に関する協定は。

答弁一 ア（市長） 自治会、自主防災組織、施設職員、地域対応職員及び教職員による避難所運営マニュアルや備蓄品の使用方法の確認、備蓄教室及び防災井戸

の位置の確認など、避難所開設に向けた連携訓練を実施している。

イ 災害対策基本法の改正を踏まえた実効性のある支援策を実現できるよう、現在、鶴ヶ島市地域防災計画の改定を進めている。

二 必要に応じて医療救護班を編成し、救護所を開設する。坂戸鶴ヶ島医師会及び坂戸鶴ヶ島薬剤師会と派遣や供給等に関する協定を締結している。

三 平成27年9月1日現在で33の災害時協定を締結している。

四 川越都市圏まちづくり協議会構成市町や平成3年の同期市との相互応援協定等を締結している。



防災訓練